



2020年3月24日

各位

会社名 澤田ホールディングス株式会社  
代表者 代表取締役社長 上原 悦人  
(コード 8699 JASDAQ)  
問合せ先 執行役員 松村 恭也  
TEL 03-4560-0398(代表)

### ハーン銀行の2020年12月期第1四半期の業績見込に関するお知らせ

当社の連結子会社である Khan Bank LLC (本社: モンゴル国ウランバートル市、CEO: John Bell、以下「ハーン銀行」又は「同行」という。)において、同行の2020年12月期第1四半期(2020年1月1日~2020年3月31日)の個別業績に影響を与える事象が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

ハーン銀行の2020年12月期第1四半期の個別業績(予想)  
(2020年1月1日~2020年3月31日)

損益計算書(抜粋)

(単位: 百万トウグルグ)

科 目	前期 第1四半期 (2019年1~3月)	当期 第1四半期 (2020年1~3月)	前年同期比 (増減率(%))
Interest income (資金運用収益)	259,596	268,765	3.5%
Interest expense (資金調達費用)	159,852	168,247	5.3%
Net interest income (純資金運用収益)	99,745	100,518	0.8%
Other income (その他経常収益)	35,215	35,473	0.7%
Other expense (その他経常費用)	86,155	106,280	23.4%
Net profit before taxes (税引前当期純利益)	48,805	29,711	▲39.1%
Net profit after taxes (当期純利益)	37,943	22,523	▲40.6%

2020年1月にモンゴル国において、年金担保ローンの国による返済に関する法律(英語法律名「One-time State Repayment for Pension Secured Loan of a Citizen」)が施行されました。この法律は、年金を担保にしたローンの債務について1人あたり最大600万トウグルグまで返済されるという内容で、その財源としてモンゴル国営企業 Erdenes MGL 社が発行する社債を銀行に引き受けさせるというものです。

この影響により、ハーン銀行において、資金運用収益の減少、上記社債に対する引当金繰入額の増加が見込まれ、また、事業拡大に伴い人件費やシステム保守費等が増加しており、以上の結果、同行の2020年12月期第1四半期は税引前当期純利益が前年同期比で39.1%減益となる見込みであります。

なお、ハーン銀行は12月決算であり、同行の2020年12月期第1四半期の財務諸表は、当社の2020年3月期第1四半期(決算日: 2020年6月30日)の連結財務諸表の作成に使用します。また、第2四半期以降の連結財務諸表に与える影響については、現時点では不明でありますので、その影響額が判明次第、速やかに公表させていただきます。

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上